

## 資料

# 部落史関係文献目録

(2006年4月～2007年3月)

1. 本目録は、概ね2006年4月から2007年3月までの間に発表された部落史関係の著作・論文、それ以前に発表されながら昨年までの目録に収録できなかった文献をも収録した。
2. 全体を(1)単行本、(2)逐次刊行物、(3)部落問題・人権関係逐次刊行物に分類し、(1)は編著者の、(2)と(3)は逐次刊行物の50音順に配列した。
3. 本目録は、部落解放・人権研究所が収集した文献データを基礎として、京都部落問題研究資料センターの収集データ、さらに廣岡浄進氏・藤原豊氏の補充調査によって作成した。
4. 2007年4月以降のデータを含め、本目録に収録しきれなかった文献については、研究所ウェブサイトの文献データベース ([http://web-db.blhrrri.org/navi/index\\_ronbun.htm](http://web-db.blhrrri.org/navi/index_ronbun.htm)) で検索できる。

## (1) 単行本

---

- 『高知の部落解放運動 50年の記念誌』部落解放同盟高知県連合会、2007/01
- 『高瀬川を歩く5 京都南部における社会的排除』龍谷大学同和問題研究委員会、2007/03
- 『谷口修太郎さんを偲ぶ』『谷口修太郎さんを偲ぶ』編集刊行委員会、2006/05
- 『ふれあい吉祥院 11年の歩み』ふれあい吉祥院ネットワーク、2007/03
- 『柳原銀行記念資料館開館10年記念特別展 大仏柳原庄の景観 閉ざされた歴史に光を そして壁を越えて』京都市人権文化推進課、2006/07
- 『柳原銀行記念資料館開館第18回特別展 東七条水平社と国民研究会 激動の時代の崇仁を支えた11人』京都市人権文化推進課、2007/03
- 〈ア〉
- 秋定嘉和『近代日本の水平運動と融和運動』部落解放・人権研究所、2006/09
- 浅尾篤哉編『三浦参玄洞論説集』一文字工房、2006/06
- 網野善彦『日本中世に何が起きたか 都市と宗教と「資本主義」』洋泉社、2006/05
- ・「中世における聖と賤の関係について」
- ・「境界に生きる人びと 聖別から賤視へ」
- ・「絵師の心 一遍と「乞食非人」」
- 〈イ〉
- 磯貝富士男『日本中世奴隷制論』〈歴史科学叢書〉、校倉書房、2007/01
- 五木寛之・沖浦和光『辺界の輝き』講談社、2006/09
- 〈ウ〉
- 上原善広『コリアン部落 幻の韓国被差別民白丁を探して』ミリオン出版、2006/05
- 〈オ〉
- 大阪歯科大学人権啓発推進委員会編『2005年度人権講演会講演録』大阪歯科大学人権啓発推進委員会、2006/11
- ・寺木伸明「歴史の流れを継承し、新たな時代に向けて 前近代の部落史研究と部落問題解決への課題」
- 大阪人権博物館編『島崎藤村「破戒」100年』大阪人権博物館、2006/09
- 大阪人権博物館編『大阪人権博物館総合展示図録 可変型編』大阪人権博物館、2007/01
- 大阪人権博物館編『博物館の展示表象 差別・異文化・地域』大阪人権博物館、
- 部落解放研究 No.177 2007.8

- 2007/03  
大阪の部落史委員会編『大阪の部落史 第3巻 史料編 近世3』部落解放・人権研究所/解放出版社、2007/03
- 〈カ〉  
貝塚市教育委員会編『貝塚市古文書目録2』貝塚市教育委員会、2004/09  
貝塚市教育委員会編『貝塚市古文書目録3』貝塚市教育委員会、2006/03  
学術文献刊行会編集『日本史学年次別論文集 古代2-2004年』朋文出版、2006/04  
・平林章仁「古代肉食忌避考」  
学術文献刊行会編集『日本史学年次別論文集 近世2-2004年』2006/07  
・木下光生「近世畿内三昧聖の自己認識と葬送文化 近世畿内三昧聖研究の課題」  
・鯨井千佐登「仙台藩領の「癩人小屋」について」  
・塚本明「速懸 近世宇治・山田における葬送儀礼」  
・藤本清二郎「和歌山城付かわた村の社会構造 屋敷地・家持・屋敷年貢を中心に」  
学術文献刊行会編集『日本史学年次別論文集 中世2-2004年』2006/09  
・片岡耕平「中世の穢観念について」  
学術文献刊行会編集『日本史学年次別論文集 近現代3-2004年』、2007/01  
・鈴木良「地域支配の構造 いわゆる水国争闘事件の分析を通して 水平社創立をめぐって その11」  
学術文献刊行会編集『日本史学年次別論文集 日本史学一般2004年』2007/01  
・吉田徳夫「法制史上より見た部落問題」  
勝田至『日本中世の墓と葬送』吉川弘文館、2006/04  
・「第一部 死体遺棄と触穢について」  
金倉義慧『旭川・アイヌ民族の近現代史』高文研、2006/04  
・「II章 自立への道2 「解平社」から全道アイヌ青年大会へ「水平社」と「解平社」」
- 川本千代子・川本由美子・吉川三代子編『追慕 川本龍子想い出集』川本千代子・川本由美子・吉川三代子、2007/01  
・川本龍子「第6回「久世結婚差別事件」公判 特別弁護人意見陳述 1975年4月1日」
- 〈キ〉  
木村茂光『日本初期中世社会の研究』〈歴史科学叢書〉校倉書房、2006/05  
・「IV 分業・身分論の視点 第二章 中世前期の下人と非人」  
京都市市政史編さん委員会編『京都市政史 第5巻 資料 市政の展開』京都市、2006/03  
近畿同朋運動推進協議会編『生きる 浄土真宗本願寺派近畿同朋運動推進協議会創立50周年記念大会記録集』近畿同朋運動推進協議会、2006/06  
近現代資料刊行会企画編集『大阪市・府社会調査報告書 1～55 復刻』〈日本近代都市社会調査資料集成 9〉、近現代資料刊行会、2006/05～12  
近世絵図地図資料研究会編/本田豊解説『加賀・能登・越中2 近世絵図地図資料集成 第I期 第10巻』科学書院、2006/07  
・本田豊「都市図と村絵図 近世絵図地図制作の背景」
- 〈ク〉  
鯨井千佐登『境界の現場 フォークロアの歴史学』辺境社、2006/05  
・「第四章 境界の神と「癩人小屋」」  
熊本学園大学編『差別と人権問題の正しい認識のために 13』熊本学園大学、2006/03  
・白石正明「講演記録/「差別と向き合った人びと 兆民・上田・有馬」」
- 〈ケ〉  
源城政好『京都文化の伝播と地域社会』〈思文閣史学叢書〉思文閣出版、2006/10  
・「III 被差別民衆の諸相」

〈コ〉

礪川全次『異端の民俗学 差別と境界をめ  
ぐって』河出書房新社、2006/04

後藤雅知編『身分的周縁と近世社会 1 大  
地を拓く人びと』吉川弘文館、2006/12

〈サ〉

酒井直行・本多秀臣・聴涛真悠子編『歴史  
の中の遊女・被差別民 謎と真相』〈別  
冊歴史読本45〉新人物往来社、2006/09

・赤坂憲雄「菅江真澄の見た東北の遊女た  
ち」

・笹本正治「東と西の差別、神と遊女」

・関口博巨「十八世紀列島社会の差別観念  
と遊女 荻生徂徠の遊女論をめぐって」

・辻本正教「衛・辻と遊女の祖・鈿女命」

・服部英雄「現代と中世を交錯する遊び女  
像 人身売買史断章」

・服藤早苗「遊女の成立 遊行女婦から遊  
女へ」

・森栗茂一「都市と遊女」

佐久市五郎兵衛記念館編『五郎兵衛用水を  
歩く 見学ガイドブック 新版』佐久市  
教育委員会、2007/03

〈シ〉

塩見鮮一郎『乞胸 江戸の辻芸人』河出書  
房新社、2006/07

〈ス〉

杉山博昭『近代社会事業の形成における地  
域的特質 山口県社会福祉の史的考察』  
時潮社、2006/10

・「第5章 第1節 山口県におけるハン  
セン病対策の展開 無癩県運動期を中心  
に」

・「第5章 第2節 朝鮮人と社会事業  
宇部市同和会をめぐって」

〈セ〉

世界人権問題研究センター編『講座・人権  
ゆかりの地をたずねて 2005年度講演  
録』世界人権問題研究センター、  
2007/03

・秋定嘉和「戦時下の京都市民と社会福祉

事業—救貧・保健・協和・同和事業のな  
かで」

〈ソ〉

園田学園女子大学歴史民俗学会編集『漂泊  
の芸能者』〈そのだ歴史民俗ブックレッ  
ト3〉岩田書院、2006/09

・北川央「伊勢大神楽の回檀と地域社会」

・村上紀夫「万歳考 散所との関わりを中  
心に」

・井上勝志「浄瑠璃操り成立期の語り手」

・久下隆史「兵庫県下の民間芸能者」

・久下正史「奪衣婆を持つ聖」

〈タ〉

高木博志『近代天皇制と古都』岩波書店、  
2006/07

〈ツ〉

塚田孝『近世大坂の都市社会』吉川弘文館、  
2006/06

・「Ⅲ 都市大坂と蔵屋敷 四 近世大坂  
における牛馬皮流通と売支配」

・「Ⅳ 身分制社会とかわた村 一 長州  
藩蔵屋敷と渡辺村」

・「Ⅳ 身分制社会とかわた村 二 身分  
制社会の解体 大坂・渡辺村=西浜の事  
例から」

塚田孝『近世大坂の非人と身分的周縁』部  
落問題研究所、2007/03

塚田孝編『身分的周縁と近世社会 4 都市  
の周縁に生きる』吉川弘文館、2006/12

・神田由築「役者村」

・塚田孝「都市の周縁に生きる 17世紀の  
大阪・三津寺町」

・塚田孝「都市の周縁と身分的周縁」

・西尾泰広「かわた村 和泉国南王子村の  
19世紀」

・マーレン・エーラス「大野藩の古四郎  
藩社会のなかの非人集団」

・横山百合子「屠場をめぐる人びと」

・吉田伸之「遊廓社会」

津坂治男『風の吹く中 梅川文男の生涯』  
竹林館、2006/02

筒井功『サンカの真実 三角寛の虚構』文藝春秋、2006/10

〈テ〉

寺木伸明・野口道彦編『部落問題論への招待 資料と解説 第2版』解放出版社、2006/04

- ・秋定嘉和「第2編 第7章 水平社運動の発展と転回」
- ・秋定嘉和「第2編 第6章 日本の近代化と被差別部落の問題」
- ・寺木伸明「第2編 第3章 近世被差別部落の成立と展開」
- ・中尾健次「第2編 第4章 近世部落の生活と文化」
- ・中尾健次「第2編 第5章 差別の強化と抵抗」
- ・渡辺俊雄「第2編 第8章 戦後の部落問題」
- ・村上紀夫「第2編 第2章 中世被差別民の生活と職能」
- ・森明彦「第2編 第1章 古代的差別構造の成立と変容」

〈ト〉

東京人権歴史資料館編『日本差別史関係資料集成 5 近世資料篇1』〈世界・日本歴史資料集成シリーズ 第1期 第5巻〉科学書院、2006/11

外川正明『部落史に学ぶ2 歴史と出会い 未来を語る多様な学習プラン』解放出版社、2006/12

〈ナ〉

中尾健次・黒川みどり『続 人物でつづる被差別民の歴史』解放出版社、2006/04

中尾健次『映画で学ぶ被差別の歴史』解放出版社、2006/06

長友千代治編『重宝記資料集成 第29巻 農業・工業2』臨川書店、2007/03

- ・「牛療治調法記（宝暦6年板）」
- ・「馬療治調法記（明和9年板）」

中村抔三・著作目録作成委員会『中村抔三・著作目録 1950-2003』〈むらぎも

通信223号〉、兵庫解放教育研究会、2007/03

〈ネ〉

根崎光男『生類憐みの世界』同成社、2006/04

- ・「第七章 諸国鉄砲改めと穢れ意識」
- ・「第六章 捨て牛馬・捨て子対策 弱者への眼差し」

〈ハ〉

播磨学研究所編『はりま陰陽師紀行』神戸新聞総合出版センター、2006/04

- ・沖浦和光「陰陽師の実像をさぐる」

〈ヒ〉

東野敏弘『架け橋 町民が主人公 開かれた黒田庄のあゆみ』部落問題研究所、2006/05

東村岳史『戦後期アイヌ民族-和人関係史序説 1940年代後半から1960年代後半まで』三元社、2006/05

- ・「第10章 農地改革、北海道不良環境地区対策、そして北海道旧土人保護法存廃論争」

土方鐵さんを偲ぶ会編『土方鐵さんを偲ぶ会』土方鐵さんを偲ぶ会、2006/04

廣畑研二『水平の行者 栗須七郎』新幹社、2006/08

廣畑研二編・解説『戦前期警察関係資料集 第1巻 初期水平運動 編集復刻版』不二出版、2006/10

〈フ〉

深谷克己『江戸時代の身分願望 身上市りと上下無し』吉川弘文館、2006/11

- ・「賤民社会の身分引上げ」

福岡市同和教育研究会編『福岡発！ 今Dokiの部落史学習 上巻』福岡市同和教育研究会、2006/04

福岡市同和教育研究会編『福岡発！ 今Dokiの部落史学習 下巻』福岡市同和教育研究会、2006/08

福地幸造・著作目録作成委員会『福地幸造・著作目録 1947-1999』〈むらぎも通

信221号)、兵庫解放教育研究会、  
2006/12

藤野豊『忘れられた地域史を歩く 近現代  
日本における差別の諸相』大月書店、  
2006/10

〈マ〉

マイノリティ研究班『アジアのマイノリテ  
ィと法 1』〈研究叢書 第34冊〉関西  
大学法学研究所、2006/03

・吉田徳夫「近世国家と部落問題」  
前田速夫『白の民俗学へ 白山信仰の謎を  
追って』河出書房新社、2006/07

・「4 被差別部落が祀る白山神」  
町田市立自由民権資料館編『山上卓樹・カ  
クと武相のキリスト教 響きあう信仰と  
運動』〈民権ボックス19号〉町田市教育  
委員会、2006/03

〈ミ〉

三重県人権・部落史研究交流会編『物語と  
史料で綴る新しい三重の部落史 第4  
集』三重県人権・部落史研究交流会、  
2006/04

宮崎学著/和歌山人権研究所編『反差別の  
行動と思想』〈人権ブックレット11号〉、  
和歌山人権研究所、2007/01

・「反差別の行動と思想 和歌山の近代の  
歴史に何をみるか」

宮武利正『部落史ゆかりの地』解放出版社、  
2006/09

宮本三郎『アナーキスト群像回想記—大  
阪・水崎町の宿 大正3年～昭和20年  
サブロー少年覚え帳』あ・うん、  
2006/05

・「大正・昭和初期に於ける大阪 社会・  
労働・水平社運動活動家群像」

宮本常一『日本人を考える—歴史・民俗・  
文化』河出書房新社、2006/03

・野間宏・安岡章太郎「逃げ場のない差別  
のひだ」

〈メ〉

明治維新史学会編『明治維新と歴史意識』  
〈明治維新史研究 7〉、吉川弘文館、  
2005/04

・吉田栄治郎「幕末～明治初年の夙の動向  
土師部由緒をめぐって」

〈モ〉

森下徹編『身分的周縁と近世社会7 武士  
の周縁に生きる』吉川弘文館、2007/02

〈ヤ〉

八幡浜部落史研究会編『部落史研究報告集  
第10集』八幡浜部落史研究会、2006/12

〈ヨ〉

吉田永宏『日本近代文学と思想性』関西大  
学出版部、2007/03

・「VI 近代文学と人権問題」  
米田綱路編『はじまりはいつも本 書評的  
対話』パロル舎、2006/04

・米田綱路/藤野豊「たたかう歴史学 さ  
まざまなマイノリティのくびとを軸にし  
た、歴史叙述の実践」

〈ワ〉

和田幸司『浄土真宗と部落寺院の展開』法  
蔵館、2007/02

渡邊忠司『大阪町奉行所異聞』東方出版、  
2006/05

・「II 大坂町奉行と与力・同心異聞 三  
取締と捕縛 2 役木戸と長史」

・「II 大坂町奉行と与力・同心異聞 三  
取締と捕縛 1 町廻り」

## (2) 逐次刊行物

〈ウ〉

『ウォロ』418、大阪ボランティア協会、  
2006/09

・小笠原慶彰「まちを歩けば (16) 大阪の

社会事業の史跡 徳風学校とその支援者  
たち」

〈オ〉

『大原社会問題研究所雑誌』569、法政大

- 学大原社会問題研究所、2006/04
- ・西成田豊「産業革命期日本における重工業大経営労働者の「都市下層民」の性格について（下）」  
〈カ〉  
『学習院大学経済論集』42（3）、学習院大学経済学会、2005/10
  - ・斎藤洋一「江戸時代の被差別部落の歴史を見直す」  
『神奈川大学評論』53〈特集：網野善彦—「網野史学」と日本歴史学〉、神奈川大学、2006
  - ・関口博巨「差別と天皇と日本列島—網野善彦氏に導かれて」
  - ・安丸良夫・五味文彦・橋川俊忠（他）「座談会「網野史学」と網野善彦をめぐって—中世史から日本史の全体像へ」
  - ・中沢新一「まはさてあらん」
  - ・網野善彦「未収録講演記録/日本の社会における「文明史的転換期」について」  
『関西学院大学人権研究』10、関西学院大学、2006/03
  - ・山泰幸「異人論再考—「排除」の民俗学のために」  
『関東近世史研究』60〈2005年度大会特集：江戸の社会構造と意識〉、関東近世史研究会、2006/07
  - ・神田由築「木村涼氏報告「歌舞伎・文人と江戸社会—七代目市川団十郎を中心として」」
  - ・木下光生「西木浩一報告の成果と課題」
  - ・西木浩一「江戸の社会と「葬」をめぐる意識—墓制・盆儀礼・「おんぼう」」  
〈キ〉  
『季刊現代の理論』7〈特集：日本文化その成り立ち〉、言論NPO・現代の理論、2006/04
  - ・平松真一「鉢叩きの残像 露風から良寛、芭蕉そして長嘯子へ」  
『教育実践学論集』7、兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科、2006/03
  - ・和田幸司「部落寺院毛坊主に関する一考察—丹波国多紀郡惣道場西誓寺を事例として」  
『キリスト教社会問題研究』55、同志社大学人文科学研究所、2006/12
  - ・細井勇「近世の公的救済と近代的慈善事業の特質について—棄児養育米制度に注目して」  
〈ケ〉  
『経済学雑誌』106（4）、大阪市立大学経済学会/大阪市立大学、2006/03
  - ・大西祥恵「マイノリティの労働市場参入に関する一考察—大阪府和泉地区を事例として」  
『藝能史研究』174、藝能史研究会、2006/07
  - ・鶴崎裕雄「応仁の乱期の『大乘院寺社雑事記』に見る芸能文化」  
『藝能史研究』175、2006/10
  - ・杉山美絵「戦国期の禁裏における声聞師大黒の存在形態」  
『研究論集』2、河合文化教育研究所、2006/06
  - ・八箇亮仁「近世時代区分論の射程と差別問題」  
『現代』39（9）、講談社、2006/09
  - ・魚住昭「本のエッセンス書評『水平記—松本治一郎と部落解放運動の100年』高山文彦著—解放運動の歴史を見つめその光と影を活写」  
〈コ〉  
『コア・エシックス』3、立命館大学大学院先端総合学術研究科、2007/03
  - ・山本崇記「差別/被差別関係の論争史—現代（反）差別論を切り開く地点」  
『國文學』50（7）〈特集：能—歴史と身体〉、學燈社、2005/07
  - ・小林康夫、松岡心平「対談/世阿弥の身と心と体—存在と時間」  
『國文學』51（10）〈特集：折口信夫—新しく見えてきた像（かたち）〉、2006/09

・前田速夫「宗教—白山信仰と折口」

〈シ〉

『史学雑誌』115（5）、史学会編/山川出版社、2006/05

・高野信治「日本（近世）五 身分・ジェンダー」

・石瀧豊美「日本（近世）六 身分・賤民制」

『時宗教学年報』34、時宗教学研究所、2006/03

・金井清光「既刊近世遊行送迎史料解説（1）」

『時衆文化』13、岩田書院、2006/04

・金井清光「河原と時衆」

・砂川博「琵琶法師と時衆—安養寺旧蔵『寺中行事』をめぐって」

『正倉院紀要』28、宮内庁正倉院事務所、2006/03

・出口公長「正倉院宝物に見る皮革の利用と技術」

・出口公長・竹之内・一昭・村章他「正倉院宝物特別調査報告—皮革製宝物材質調査」

〈セ〉

『生活文化研究所年報』19、ノートルダム清心女子大学生活文化研究所、2006/03

・神田由築「瀬戸内と芸能文化—行き交う芸能者たち」

〈タ〉

『橋史学』20、京都橘大学歴史文化学会、2005/11月

・ひろたまさき「『語り』と想像力」

〈チ〉

『地方史研究』56（2）、地方史研究協議会、2006/04

・西海賢二「書評/小田原近世史研究会編『交流の社会史—道・川と地域』」

『地方史研究』56（4）、2006/08

・西海賢二「問題提起15 念仏行者と地域社会—伊豆の徳本上人巡錫をめぐって（大会特集1）」

〈ナ〉

『奈良歴史研究』63・64、奈良歴史研究会、2005/06

・吉田栄治郎「洞村移転=「天皇制権力による部落の強制移転」論は成立するのか」

〈ニ〉

『日本史研究』521、日本史研究会、2006/01

・上田長生「陵墓管理制度の形成と村・地域社会—幕末期を中心に（特集：陵墓研究の新天地）」

『日本史研究』526、2006/06

・今井修平「近世都市史・身分論の自立と朝尾史学」

・小倉宗「畿内からみた幕藩体制 朝尾直弘氏の近世社会論」

・川端泰幸「書評/金龍静著『一向一揆論』」

・杉本弘幸「部会ニュース近現代史部会/1920-30年代の都市社会事業行政と市会—京都市を事例に」

・西田かほる「書評/世界人権問題研究センター編『散所・声聞師・舞々の研究』」

『日本史研究』530、2006/10

・高田陽介「書評/勝田至著『日本中世の墓と葬送』」

『日本史研究』532、2006/12

・三枝暁子「部会ニュース中世史部会/北野社西京七保神人の成立」

『日本史研究』533、2007/01

・梅田千尋「書評/林淳著『近世陰陽道の研究』」

『日本文化史研究』37、日本文化史学会編/帝塚山大学日本文化史学会、2006/03

・赤田光男「論考/中世大和興福寺の祈雨儀礼」

『日本歴史』693、日本歴史学会編/吉川弘文館、2006/02

・重松正史「書評と紹介/紙谷信雄著『米騒動の理論的研究』」

『日本歴史』695、2006/04

・森田清美「一向宗門徒摘発の実態とその

- 意味 薩摩における修験者の日記類をもとに」
- 『日本歴史』700、2006/09
- ・塚田孝「身分的周縁論」
  - ・渡辺尚志「近世村落社会論 地域社会論を中心に」
- 『日本歴史』701、2006/10
- ・山本幸司「書評と紹介/丹生谷哲一著『身分・差別と中世社会』」
- 『日本歴史』702、2006/11
- ・澤博勝「書評と紹介/児玉識著『近世真宗と地域社会』」
- <ネ>
- 『年報都市史研究』13、山川出版社、2005/11
- ・吉田伸之「書評/岩田浩太郎著『近世都市騷擾の研究—民衆運動史における構造と主体』」
- <ヒ>
- 『皮革科学: hikaku kagaku』52 (2)、日本皮革技術協会、2006/07
- ・出口公長「正倉院宝物の皮革材質調査とその技術」
- 『ヒストリア』200、大阪歴史学会、2006/06
- ・吉村智博「維新変革期における摂州能勢郡下田村 明治4年「約定取締一札之事」再考」
- 『ヒストリア』201、2006/09
- ・木下光生「書評/「浪速部落の歴史」編纂委員会編『史料集 浪速部落の歴史』」
  - ・杉本弘幸「書評/鈴木良著『水平社創立の研究』」
- <ホ>
- 『法政論叢』43 (1)、日本法政学会、2006/11
- ・和田幸司「近世後期における本願寺部落寺院政策の政治的展開」
- 『本願寺史料研究所報』29、本願寺史料研究所、2006/07
- ・左右田昌幸「花山火葬場について (1)」
- 『本願寺史料研究所報』30、2006/08
- ・左右田昌幸「花山火葬場について (1・承前)」
  - ・左右田昌幸「花山火葬場について (2)」
- 『本願寺史料研究所報』31、2006/11
- ・左右田昌幸「花山火葬場について (2・承前・結)」
- 『本郷』67、吉川弘文館、2007/01
- ・森下徹「身分的周縁論と近世史研究のこれから」
- 『本の話』12 (4)、文芸春秋、2006/04
- ・沖浦和光「著者に聞く/〈悪〉〈遊〉〈色〉から腑分けする日本文化」
- <リ>
- 『歴史学研究』824、歴史学研究会編/青木書店、2007/02
- ・杉本弘幸「1940-60年代の都市社会政策と地域住民組織—京都市社会行政と「不良住宅地区」対策をめぐって」
- 『歴史評論』675、歴史科学協議会編、2006/07
- ・藤野裕子「書評/大門正克ほか編『近代社会を生きる』」
- 『歴史評論』677、2006/09
- ・山下克明「書評/繁田信一著『陰陽師と貴族社会』」
- 『歴史民俗学』25 (特集: 陰陽師の末裔たち)、歴史民俗学研究会/批評社、2006/08
- ・井上伸一「出産と陰陽五行」
  - ・礪川全次「菊池山哉が捉えた陰陽師」
  - ・小谷方明・小谷方明研究会「民俗学者のみた信太陰陽師」
  - ・信太伝承研究会・歴史民俗学研究会「安倍晴明生誕伝承の背景」
  - ・林耕二「『舞大夫』としての信太陰陽師」
  - ・藤村義彰「暦と陰陽師」
  - ・森秀樹「近世民間陰陽師のイメージとルーツ雑考」
  - ・森村健一「中近世都市・堺と陰陽道」
  - ・吉田栄治郎「被差別民衆史の中の陰陽師」

## (3) 部落問題・人権関係逐次刊行物

〈ア〉

『明日へ』34、東京人権啓発企業連絡会広報委員会、2006/05

・外川正明「差別は誰の問題か いま改めて部落史を学ぶ意味を問う」

『明日を拓く』64、「明日を拓く」編集委員会編/東日本部落解放研究所、2006/03

・朝治武「初期水平社運動と民族問題 平野小劔研究(5)」

・岡雄一郎「えた頭弾左衛門配下組織の研究(下) 下野国安蘇郡佐野犬伏町小頭太郎兵衛配下組織を例に」

・坂井康人「近世における勸進の変化と地域社会 下野国を中心にして」

・菅野守「関東水平社福島支部主幹者「栃木勇吾」とは誰か」

・浪川健治「近世北奥地域における被差別集団 弘前藩領の歴史的な実態とその編成」

『明日を拓く』65〈特集：被差別部落の生業—その諸相〉、2006/03

・「足利市板倉地区の山仕事—三ツ俣唯一郎さん、山田定夫さんに聞く」

・「斎藤洋一氏に聞く 新著『被差別部落の生活』をめぐって」

・中島久恵「骨・血・筋・臓器の利用史と化製業の社会的評価について」

・藤沢靖介「史料紹介/『明治前期大審院民事判決録』から その1 土地所有・地券の交付をめぐる東京の二件」

『明日を拓く』66、2006/11

・大熊哲雄「長吏旦那場とその質入れについて」

・藤沢靖介「史料紹介/『明治前期大審院民事判決録』から その2「職場」を担保とする金融に関する埼玉県の四件」

・藤沢靖介「中世戦国期、東日本の長吏・かわた—戦国大名の文書を中心に」

『明日を拓く』67、2007/02

・石田貞「埼玉県成沢村八坂神社の祭礼参加問題 大審院で勝訴したが祭礼参加の実現は半世紀後」

・藤沢靖介「史料紹介/『明治前期大審院民事判決録』から 3 神社氏子・祭礼参加に関する四件」

〈オ〉

『大阪人権博物館紀要』9〈特集：上田静一と部落改善運動〉、大阪人権博物館、2007/01

・朝治武「京都・田中部落の改善運動と上田静一」

・大藪岳史「上田静一資料目録」

・大藪岳史「上田静一略年譜」

・白石正明「田中親友夜学校と上田静一」

・吉村智博「新田長次郎小論 新田帯草の業態を中心に」

『大阪の部落史通信』39、大阪の部落史委員会、2006/11

・左右田昌幸「史料紹介/撰津国東成郡荒生村常宣寺所蔵史料について」

・編集部「新刊案内/『大阪の部落史』普及版プロジェクト編著『自覚と誇り「大阪の部落史」を読む 近現代」

・吉村智博「書評と紹介/箕面市史改訂版編さん委員会編『改訂箕面市史 部落史』史料編3(近世・近現代)」

『大阪の部落史通信』40、2007/03

・白井壽光「第3巻からみえる新しい大阪の部落史像」

・八箇亮仁「書評と紹介/『大阪の部落史』普及版プロジェクト編著『自覚と誇り「大阪の部落史」を読む 近現代」

『岡山部落解放研究所紀要』14、部落史研究委員会編/岡山部落解放研究所、2006/05

・「宇田家文書史料集 解説」

『岡山部落解放研究所報』277、岡山部落解放研究所、2006/04

- ・黒田義夫「わが人生 岡山県の部落解放運動史（1）」  
『岡山部落解放研究所報』278、2006/05
- ・黒田義夫「わが人生 岡山県の部落解放運動史（2）」
- ・好並隆司「定例読書会/『『部落史』論争を読み解く』第五章『『中世非人』をめぐる画期的な論争』  
『岡山部落解放研究所報』279、2006/05
- ・近井弘昭「3月定例読書会/『『部落史』論争を読み解く』第7章「部落起源論争をめぐる」  
『岡山部落解放研究所報』280・281、2006/07
- ・佐橋謙「定例読書会/沖浦和光著『『部落史』論争を読み解く』「第6章不殺生戒とケガレ観念」
- ・田代菊雄「定例読書会/沖浦和光著『『部落史』論争を読み解く』「第8章近世賤民制の形成期と確立期」  
『岡山部落解放研究所報』282、2006/11
- ・好並隆司「報告/「和泉国南王子村」研修〈カ〉  
『解放教育』453、明治図書出版、2005/08
- ・朝治武「新しくなる大阪人権博物館—親しい教員との対話から」  
『解放教育』467〈特集：現代的部落問題学習の視点と教材〉、解放教育研究所編/明治図書出版、2006/10
- ・福岡市同和教育研究会「部落史学習の新構想「福岡発!今Dokiの部落史学習」私、社会科苦手だったけど、歴史はおもしろい!!」  
『解放研究とっとり』9、鳥取県部落解放研究所、2007/02
- ・宇田川宏「史料紹介/明治三八年橋郡村々血判人寄場帳 宗門血判改と被差別民」
- ・國歳眞臣「舞鶴市新部落の形成と解放への主体の形成（1）鳥取県移住者の子孫からの聴き取りを中心に」
- ・田中真次「近代の鳥取県食肉産業と部落  
米子を事例に」
- ・山本寛「郷土の同和教育史 融和教育以前の部」  
『解放新聞』505～509、岡山解放新聞社（伊沢卓士）、2006/06～2006/09
- ・師岡佑行「全国水平社の創立といま 2003年6月1日 岡山県水平社創立80周年記念集会講演要旨」1～5  
『解放新聞』518?、岡山解放新聞社（伊沢卓士）、2006/09?
- ・「参考資料/大阪人権博物館『絵図に描かれた被差別民』発刊にあたって」  
『解放新聞』492～494、岡山解放新聞社（楠木裕樹）、2006/04～2006/05
- ・「渋染学習シリーズ」4～終  
『解放新聞』493～495、岡山解放新聞社（楠木裕樹）、2006/05～2006/06
- ・黒田義夫「わが人生—岡山県の部落解放運動史」その1～最終章  
『解放新聞』496、岡山解放新聞社（楠木裕樹）、2006/06
- ・「部落解放幹部研修会/「宇田家文書」から学ぶ」  
『解放新聞』500～502、岡山解放新聞社（楠木裕樹）、2006/09～2006/10
- ・川元祥一・楠木裕樹・山田美那子・好並隆司「渋染一揆150周年記念事業シンポジウム」部落民衆が伝えたいこと—渋染一揆の行動哲学」その1～最終  
『解放新聞』502、岡山解放新聞社（楠木裕樹）、2006/10
- ・「師岡佑行さんを偲ぶ会」  
『解放新聞』2263、2271、2275、2280、2284、2287、2288、2293、2297、2309、解放新聞社、2006/04、2006/06～/12、2007/03
- ・湧水野亮輔「ぶらくを読む」11～20  
『解放新聞』2289、解放新聞社、2006/10
- ・「劇『破戒』を上演する中西和久さんに聞く」  
『解放新聞』2293、解放新聞社、2006/11

- ・音谷健郎「解放の文学 8 鄭承博と小説『水平の人』—栗須七郎への追慕」『解放新聞改進黨』347、348、350、351、357、358、部落解放同盟改進黨支部、2006/05、/06、/08、/09、2007/02、/03
- ・「改進黨地区の歴史」4～9
- 『解放新聞改進黨』351、357、部落解放同盟改進黨支部、2006/09、2007/02
- ・「改進黨地区発 同和教育の変遷を探る 明日への架け橋」1～2
- 『解放新聞神奈川版』295・296、解放新聞社神奈川支局、2006/06
- ・沖浦和光「講演/『日本文化史と悪場所』マンザイの風俗誌」
- 『解放新聞神奈川版』303・304、2007/02
- ・藤野豊「第25期部落解放神奈川県共闘会議総会記念講演/神奈川の部落史」
- 『解放新聞京都市版』174、175、179、184、部落解放同盟京都市協議会、2006/04、/05、/09、2007/02
- ・「探訪 部落の近・現代史」5～8
- 『解放新聞京都版』725～727、735～742、744～749、解放新聞社京都支局、2006/06～/07、2006/10～2007/03
- ・「むこうにみえるは 改進黨の部落史」1～17
- 『解放新聞京都版』726、2006/07
- ・秋定嘉和「師岡佑行さんの死を悼む」
- 『解放新聞京都版』749、2007/03
- ・「この人に聞く77 運動をふり返って5 前田支部 山本正一」
- 『解放新聞埼玉』760、761、部落解放同盟埼玉県連合会、2006/10
- ・黒川みどり「近代日本と部落差別 つくりかえられる徴」(上)(下)
- 『解放新聞長野版』367～376、解放新聞社長長野支局、2006/04～2007/01
- ・中山英一「差別とのたたかい」25～34
- 『語る・かたる・トーク』134～139、141～145、横浜国際人権センター、2006/04～/09、2006/11～2007/03
- ・斎藤洋一「信州の近世部落のひびと」12～22
- 『語る・かたる・トーク』134～145、2006/04～2007/03
- ・田村正男「同和問題再考」64～75
- ・林力「わたしと部落とハンセン病」7～18
- 『語る・かたる・トーク』140、2006/10
- ・斎藤洋一「古文書はかたる古文書に聴く 番外・ビデオ『マリア・ルス号事件—人間の港ヨコハマ』を見て」
- 『かわとはきもの』137～139、東京都立皮革技術センター台東支所、2006/09～2007/03
- ・稲川實「靴の歴史散歩」82～84
- ・出口公長「正倉院と皮革」2～4
- 『関西大学人権問題研究室紀要』53、関西大学人権問題研究室、2006/12
- ・吉田永宏「関西大学茨木市民人権講座「破戒」百年と部落問題」
- 〈キ〉
- 『季刊人権問題』4、兵庫人権問題研究所、2006/04
- ・杉之原寿一「兵庫県における戦後部落解放運動と兵庫県政 下」
- 『季節よめぐれ』219、京都解放教育研究会、2006/04
- ・山村雅史「奈良県における「部落史の見直し」について」
- 『季節よめぐれ』221、2006/06
- ・清原隆宣「人の世に熱あれ 人間に光あれ」
- 『季節よめぐれ』228、2007/01
- ・小林丈広「部落形成の四類型」
- 『京都部落問題研究資料センター通信』3、京都部落問題研究資料センター、2006/04
- ・高野昭雄「書評/鈴木良著『水平社創立の研究』」
- ・八箇亮仁「部落史連続講座 近代京都の被差別部落Ⅱ 第四回 伊東茂光と崇仁

- の教員たち」
- ・吉田栄治郎「部落史連続講座 近代京都の被差別部落Ⅱ 第三回 喜田貞吉と部落問題 京都を中心に」『京都部落問題研究資料センター通信』4、2006/07
  - ・秋定嘉和「師岡佑行さんの死を悼む」『京都部落問題研究資料センター通信』5、2006/10
  - ・伊藤悦子「第1回 児童融和教育の模索と井手小学校の実践 1928年から1938年 文相訓令まで」
  - ・金森襄作「第3回 田中親友夜学校と上田静一 講師：白石正明さん」
  - ・湯浅孝子「第2回 協同夜学校と竹中庄右衛門 講師：中島智枝子さん」
  - ・吉田栄治郎「本の紹介/秋定嘉和著「近代日本の水平運動と融和運動」」『京都部落問題研究資料センター通信』6、2007/01
  - ・白石正明「京都府・市における教育の機会均等への施策について—第三次小学校令以降を中心に」
  - ・杉本弘幸「第2回 戦前期京都の母子福祉と教育 京都市児童院を中心に」〈ク〉『グローブ』45、世界人権問題研究センター、2006/04
  - ・秋定嘉和「研究第二部（同和問題の研究）の研究について」
  - ・秋定嘉和「「神武天皇陵」と丸山眞男」『グローブ』47、2006/10
  - ・村上紀夫「近世と「勸進」の時代」『グローブ』48、2007/01
  - ・白木正俊「歴史的遺産としての職業紹介所」
  - ・高野昭雄「新京阪電鉄工事と朝鮮人労働者」〈ケ〉『月刊滋賀の部落』390、392～395、397～399、401～403、滋賀県同和問題研究所、2006/04、2006/06～2006/07、2006/08、2006/09、2006/10、2006/11、2006/12～2007/03
  - ・鈴木俊亮「滋賀における部落解放運動の証言 水平社運動の戦士、元部落解放同盟 滋賀県連副委員長 朝野温知」2～12『月刊滋賀の部落』391、2006/05
  - ・山田稔「大正期の部落改善運動について 公開シンポジウムを開く」『月刊滋賀の部落』392、2006/06
  - ・木全清博「近江民衆史研究の先駆者 畑中誠治先生」『月刊滋賀の部落』396、2006/10
  - ・川本治雄「谷口勝巳と滋賀の部落史研究」
  - ・「史料/滋賀縣囀託海野幸徳述 小善隣館主義—滋賀縣の融和政策」『月刊スティグマ』120、125、126、千葉県人権啓発センター、2006/09～/10
  - ・坂井康人「部落史を歩く」2～4『月刊スティグマ』122〈特集：福田村事件・生存者の遺族関係者に聞く〉、2006/06
  - ・編集部「はじめに 福田村事件とは」
  - ・大前廣子/森川武利/大前春子/小野恭平/加藤雅敏/市川正寛（聞き手）「「福田村事件真相調査会」の活動を振り返って」
  - ・編集部「大前春義さんの証言」『研究紀要』12、奈良県立同和問題関係史料センター編/奈良県教育委員会、2006/03
  - ・井岡康時「行政史料から見た初期奈良県水平社の諸相」
  - ・奥本武裕「一九世紀大和における真宗フォークロアの生成・序説」『研究所通信』333、部落解放・人権研究所、2006/05
  - ・本郷浩二「「維新の変革と部落」研究会/「幕末～明治初年の諸賤民の動向 構想」報告：吉田栄治郎」『研究所通信』334、2006/06

- ・藤原豊「歴史部会/「大阪における近世中期の被差別民 大阪の部落史 第2巻 史料編(近世2)の発刊にあたって」報告:中尾健次・崎谷裕樹」  
『研究所通信』335、2006/07
- ・藤原豊「歴史部会/1「近世初期皮屋集団のキリスト教受容について」報告:阿南重幸/2「真宗と被差別民」報告:山本尚友」
- ・内田龍史「都市下層と部落問題研究会/1「映画『人間みな兄弟』にみる部落問題の表象」報告:黒川みどり/2「期待される「部落民」像 1970年代を中心に」報告:内田龍史」  
『研究所通信』336、2006/08
- ・李嘉永「部落解放・人権研究者会議第2報告/維新の変革と部落研究「維新の変革と部落問題研究」報告者:北崎豊二、コメンテータ:黒川みどり」  
『研究所通信』338、2006/10
- ・藤原豊「第12回全国部落史研究交流会報告(上)」  
『研究所通信』339、2006/11
- ・藤原豊「歴史部会/「戦後部落解放運動がめざした社会像 部落の現実と自己意識」報告:渡辺俊雄」  
『研究所通信』340、2006/12
- ・藤原豊「歴史部会・宗教部会合同部会/1「水平社の支援者・三浦参玄洞 真宗信仰を中心に」報告:浅尾篤哉/2「『僧侶の水平運動』黒衣同盟と三浦参玄洞」報告:松根鷹」  
『研究所通信』342、2007/02
- ・廣岡浄進「戦後の部落解放運動史研究プロジェクト/同和奉公会について 植民地帝国日本のアジア太平洋戦争と部落問題 報告:廣岡浄進」  
『研究所通信』343、2007/03
- ・藤原豊「歴史部会/「筑前国革座記録から見た革鞣し技術」報告:出口公長」  
<コ>
- 『国民融合通信』384、国民融合をめざす部落問題全国会議、2006/05
- ・谷彌兵衛「鈴木良著「水平社創立の研究」時代の閉塞感打破する当時の青年から学ぶもの」  
『こべる』158、こべる刊行会、2006/05
- ・恩智理「過去を記憶する意味—化製業の軌跡を追う—中島久恵著『モノになる動物のからだ—骨・血・筋・臓器の利用史』」  
『こべる』159、2006/06
- ・大沢敏郎「「清廉潔白な者」=「白丁」のこと」  
『こべる』161、2006/08
- ・中村大蔵「師岡佑行さんを悼む 梅雨の終わり—沖繩にて」
- ・藤田敬一「師岡佑行さんを偲ぶ」  
『こべる』162、2006/09
- ・岡田輝雄「君、何ぞはるかなる—師岡佑行さんの最期」  
『こべる』164、2006/11
- ・重信陽子「三味線と猫」  
<サ>
- 『在日朝鮮人史研究』36、緑蔭書房、2006/10
- ・本岡拓哉「神戸市長田区「大橋の朝鮮人部落」の形成—解消過程」  
『雑学』32、下之庄歴史研究会、2006/05
- ・朝治武「なぜ北原泰作は天皇に直訴したか」
- ・上野茂「異能者論5」
- ・上野茂「『奈良県被差別部落史』史料集第5巻 下之庄関係文書発刊される」
- ・高桑健二「中上健次私論ノート17」
- ・辻本正教「部落差別と暴力—供犠・犠牲、そして…」  
<シ>
- 『人権と部落問題』744、2006/04
- ・大日方純夫「過去を未来につなぐ現在 『未来をひらく歴史』の可能性」  
『人権と部落問題』744~749、751~754、

- 757、部落問題研究所、2006/04～/08、2006/10～2007/01、/03
- ・杉之原寿一「連載/戦後同和行政の展開と支配政策」1～8  
『人権と部落問題』745、2006/05
  - ・小原亨「文芸の散歩道 近世文芸に著されたハンセン病—説経節「しんとく丸」より」  
『人権と部落問題』746、2006/06
  - ・桑原律「本棚/『島崎藤村の人間観』（川端俊英著）」
  - ・水川隆夫「文芸の散歩道「観菊花偶記」と華族令—夏目漱石と明治を歩く4」  
『人権と部落問題』747、2006/07
  - ・秦重雄「文芸の散歩道 没後百年・松林伯円の「天人娘」出版百年の明治開化講談」  
『人権と部落問題』748、2006/08
  - ・尾川昌法「書評/同和岐阜県民会議編『国民融合の道30年 同和岐阜県民会議30年のあゆみ』」
  - ・竹永三男「部落改善運動の展開とその条件 水平運動につながらない部落を中心に」
  - ・山田兼三「本棚/『架け橋—町民が主人公 開かれた黒田庄のあゆみ』（東野敏弘著）」
  - ・渡邊巳三郎「幕末の穢多、非人の抗争 塩見鮮一郎『浅草弾左衛門』『車善七』」  
『人権と部落問題』751、2006/10
  - ・川端俊英「文芸の散歩道/『破戒』出版百年に当たって」
  - ・成澤榮壽「本棚/立命館百年史編纂委員会編『立命館百年史 通史二』」  
『人権と部落問題』752、2006/11
  - ・桑原律「文芸の散歩道/梅川文男生誕百年 プロレタリア文学と部落問題文芸の接点で書いた作家」
  - ・部落問題研究所歴史部会運営委員会「動向・研究/三枝暁子氏が「中世非人の「職能」をめぐる」を報告」
  - ・高谷知佳「三枝暁子氏が「中世非人の「職能」をめぐる」を報告 討論要旨」  
『人権と部落問題』754、2007/01
  - ・小原亨「文芸の散歩道/近世文芸に著された段（弾）左衛門—「世間咄風聞集」より」  
『人権と部落問題』755、2007/02
  - ・加来良行「第44回部落問題研究者全国集会報告 分科会2 歴史2」
  - ・引野亨輔「第44回部落問題研究者全国集会報告 分科会1 歴史1」  
『人権と部落問題』757(特集：島崎藤村『破戒』刊行100年)、2007/03
  - ・小原亨「映画『破戒』の時好性—「土下座」しない丑松・テキサスへ行かない丑松」
  - ・川端俊英「『破戒』の史的先駆性—作中世界の一断面から」
  - ・桑原律「森田草平の『破戒』批評」
  - ・成澤榮壽「『破戒』が出版されるまで」
  - ・秦重雄「21世紀を生きる『破戒』」
  - ・水川隆夫「夏目漱石と『破戒』評」
  - ・渡辺巳三郎「文芸の散歩道「路地」に生きる青春—中上健次『岬』・『枯木灘』」  
『人権21 調査と研究』182、岡山人権問題研究所、2006/06
  - ・石岡克美「岡映さんを偲んで」
  - ・尾川昌法「明治の人権論・ノート（18）馬場辰猪と植木枝盛の反論—自由民権運動（4）」
  - ・丹波正史「岡映さんの歴史的役割と人柄」  
『人権21 調査と研究』184、2006/10
  - ・尾川昌法「明治の人権論・ノート（19）「シビル」と「ポリチカル」—自由民権運動（5）」  
『人権21 調査と研究』185、2006/12
  - ・尾川昌法「明治の人権論・ノート（20）憲法草案の人権だ—明治憲法（1）」  
『じんけんぶんかまちづくり』14、とよなか人権文化まちづくり協会、2007/03
  - ・前田勝正「螢池の部落解放運動・戦前」

『人権問題研究所紀要』20、近畿大学人権問題研究所、2006/03

- ・熊本理抄「被差別部落女性が「まちづくり」運動に果たしてきた役割に関する一考察」

『信州農村開発史研究所報』94・95、信州農村開発史研究所、2006/03

- ・川向秀武「蔵書・資料類から垣間見えるもの一朝倉資料覚書（3）」
- ・斎藤洋一「[上高井平等会長]印が見つかる」
- ・斎藤洋一「吉村昭さんへのお願い」

『信州農村開発史研究所報』96・97、2006/09

- ・川向秀武「多方面にわたる関心と関わり 朝倉資料覚書（4）」
- ・斎藤洋一「史料紹介/上信一揆による五郎兵衛新田村の被害」

- ・山崎圭「いま思っていること「近世幕領地域社会の研究」を刊行して」

『身同』26、真宗大谷派解放運動推進本部、2006/05

- ・朝治武・仲林弘次・訓覇浩（コーディネーター）「シンポジウム/差別と戦争（I）部落差別と戦争」
- ・雨森慶為「東本願寺火災と、部落のひとびとの消火活動」
- ・大屋徳夫「日本植民地下のハンセン病問題 ソロクト更生園・台湾楽生院訴訟」
- ・訓覇浩「[宗教的救済意識]に関する考察1」

- ・阪本仁「三業惑乱の中の部落寺院とその信仰 積極的な意味を求めて」

- ・辻内義浩「差別するものの解放論2」
- ・樋口曜「書評/上杉聰著『これでわかった！ 部落の歴史 私のダイガク講座』」
- ・藤野豊・鈴木則子・大北規向雄・訓覇浩「2004年度人権週間ギャラリー展シンポジウム「部落問題とハンセン病問題 その重なりからみえてくるもの」

〈ス〉

『水平社博物館研究紀要』9、水平社博物館、2007/03

- ・朝治武「全国水平社消滅をめぐる対抗と分岐」

- ・金井英樹「史料紹介/『同和通信』に見る「水平社関係記事」3」

- ・塚崎昌之「水平社・衡平社との交流を進めた在阪朝鮮人—アナ系の人々の活動を中心に」

〈セ〉

『世界人権問題研究センター研究紀要』11、世界人権問題研究センター、2006/03

- ・伊藤悦子「戦前における藤範見誠の活動と融和教育の創造」

- ・本郷浩二「[被差別部落認識]の形成と近代部落問題の成立—明治期・神戸のメディア史的展開を中心に」

〈チ〉

『地域と人権』1039～1041、1043、1044、1046、1047、1049、1050、全国地域人権運動総連合、2006/04～/06、/08、/09、/11、/12、2007/02、/03

- ・丹波正史「[「樅の木は残った」半生の記] 1～9

〈テ〉

『であい』530、全国同和教育研究協議会編/オフィスプロシード、全国同和教育研究協議会、2006/05

- ・山崎幸喜「人権のまちをゆく（31）伊勢鳥居前町と民衆・被差別民1」

『であい』532、2006/07

- ・山崎幸喜「人権のまちをゆく（32）伊勢鳥居前町と民衆・被差別民（2）」

『であい』537、2006/12

- ・中山英一「であい5 長野県同和教育の源流」

〈ト〉

『同和教育論究』27、同和教育振興会、2006/12

- ・岩本孝樹「同朋運動をめぐる課題—「名

- 称」問題についての一考察」
- ・藤本信隆『『三浦参玄洞論説集』刊行によせて(上)』
  - ・左右田昌幸「史料紹介/近世真宗差別問題史料 3 山科御坊・西山御坊土持一件(下)」
- <ナ>
- 『なら解放新聞』734~737、740、741、奈良県部落解放同盟支部連合会、2006/05~/08、/11、/12
- ・吉田栄治郎「講演録/地域社会の歴史的諸相を考える」1~最終回
- <ハ>
- 『反差別人権研究みえ』5、反差別・人権研究所みえ、2006/06
- ・和田勉「部落史研究会/近世の伊勢の山の民「木地師」の人々」
- <ヒ>
- 『ヒューマンライツ』219、部落解放・人権研究所、2006/06
- ・廣岡浄進「書評/中尾健次・黒川みどり著『続 人物でつづる被差別民の歴史』」
- 『ヒューマンライツ』221、2006/08
- ・阿南重幸「書評/『自覚と誇り「大阪の部落史」を読む 近現代』」
  - ・友永健三「原田伴彦記念基金20年の歩み」
- 『ヒューマンライツ』224、2006/11
- ・渡邊明彦「歴史教科書における部落問題に関する記述についての一考察 高校日本史B(2006年度版)を対象に」
- 『ヒューマンライツ』225、2006/12
- ・田林圭太「歴史教科書における部落問題に関する記述についての一考察(2) 中学校社会・歴史教科書(2006年度版)を対象に」
- 『ひょうご部落解放』121、ひょうご部落解放・人権研究所、2006/06
- ・安達五男「再び兵庫の部落史に学ぶ(1) 心に潜む偏見・差別意識を越えるために」
- 『ひょうご部落解放』122、2006/09
- ・安達五男「再び兵庫の部落史に学ぶ(2) 戦国時代摂津・丹波の戦国領主と「かわた」衆たち」
  - ・編集部「街をあるけば 番外編『人権歴史マップ』をかた手に 生田川をあるく」
- 『ひょうご部落解放』123〈特集:兵庫県水平運動史研究の現在〉、2006/12
- ・安達五男「再び兵庫の部落史に学ぶ(3) 丹波・播磨の戦国小領主とその妻女・息女たち 妻女・息女の運命をなぜかわた道場主に託したのか」
  - ・奥本武裕「本の紹介/浅尾篤哉編『三浦参玄洞論説集』」
  - ・友井公一「友井公一・斎藤洋一往復書簡」
  - ・本郷浩二「兵庫県水平運動史研究の成果と課題」
  - ・前川修(司会)/本郷浩二/関口寛/手島一雄/朝治武/駒井忠之「座談会/兵庫県水平運動史研究の現在」
  - ・丸山眞青「本の紹介/秋定嘉和著『近代日本の水平運動と融和問題』」
  - ・守安敏司「兵庫県水平社関係史料の紹介 水平社博物館所蔵資料から」
  - ・小林丈広「安保則夫さんの立場—『ミナト神戸 コレラ・ベスト・スラム』の復刊に寄せて」
- 『ひょうご部落解放』124、2007/03
- ・安達五男「再び兵庫の部落史に学ぶ(4) 丹波の太閤検地と被差別部落の形成 丹波市の『太閤検地帳』と『延宝検地帳』の分析」
  - ・中川健一「本の紹介/『水平の行者 栗須七郎』(廣畑研二著)」
  - ・「友井公一・斎藤洋一往復書簡」
- <フ>
- 『部落解放』564~566、568、解放出版社、2006/04~/07
- ・赤坂憲雄「差別の精神史(34) 差別のフォークロア 東日本編(7)」~「差別の精神史(37) 差別のフォークロア 東

日本編 (10)

- 『部落解放』564～568、570～575、577～579、解放出版社、2006/04～2007/03
- ・ひろたまさき「差別の歴史を考える」(19)～(30)
- 『部落解放』566〈「破戒」百年〉、2006/06
- ・音谷健郎「文学史に見る『破戒』なぜ読み継がれるのか」
- ・黒川みどり「差別のありようとそれへの向き合い 歴史学の視点から「破戒」を読む」
- 『部落解放』568、2006/07
- ・仲林弘次「水平線をかけぬけた永遠の少年闘士 全国水平社少年代表 山田孝野次郎の生涯」
- 『部落解放』570、2006/08
- ・川元祥一「生きている部落文化 共感の糸を奏でよう(上)」
- 『部落解放』571、2006/09
- ・川元祥一「生きている部落文化 共感の糸を奏でよう(中)」
- 『部落解放』572、2006/10
- ・太田恭治「『破戒』の新たな発見 リバティおおさか第59回特別展 島崎藤村『破戒』百年」
- 『部落解放』573〈特集：フィールドワークでめぐる部落の歴史〉、2006/11
- ・秋定嘉和「師岡佑行さんの仕事について」
- ・竹森健二郎「歴史の罪を掘り起こして財産に 筑前竹槍一揆ウォークと被差別部落」
- ・仲林弘次「全国水平社発祥の地 柏原と水平社博物館」
- ・福西満「語り継ぎたい歴史がある おおくぼまちづくり館からの発信」
- ・藤井寿一「本の紹介/斎藤洋一著『被差別部落の生活』」
- ・本郷浩二「京都・部落史ゆかりの地 水平社創立への源流・底流・本流」
- ・吉岡隼平「旧南王子村の歴史と南王子水平社のたたかいに学ぶ 人権文化のスタ

ドイツアー「ダッシュツアー」

- ・川元祥一「生きている部落文化 共感の糸を奏でよう(下)」
- 『部落解放』574、2006/12
- ・本郷浩二「本の紹介/秋定嘉和著「近代日本の水平運動と融和運動」
- 『部落解放』575、2007/01
- ・廣畑研二「水平の行者 栗須七郎 知られざる対検閲10年闘争と水平道舎の軌跡」
- 『部落解放』576、2007/01
- ・黒川みどり「被差別部落の歴史「解放令」以後の歴史を読み解く」
- ・南田礼子「私と部落問題」
- 『部落解放』577〈特集：融和運動再考〉、2007/02
- ・秋定嘉和「討論を終えて」
- ・朝治武「報告(2)再編後の中央融和事業協会」
- ・黒川みどり「報告(3)水平運動と融和運動」
- ・手島一雄「報告(1)同愛会から中央融和事業協会の再編へ」
- ・手島一雄/朝治武/黒川みどり他/秋定嘉和「報告(1)に関する討論 改善運動・同愛会・中融」
- ・手島一雄/朝治武/黒川みどり他/秋定嘉和「報告(2)に関する討論 中融内部での分岐と統合」
- ・手島一雄/朝治武/黒川みどり他/秋定嘉和「報告(3)に関する討論 異化と同化、レイシズムの射程」
- 『部落解放』578、2007/02
- ・大谷和弘/原田雄秀「福岡発!今Dokiの部落史学習 部落史学習の新構想」
- ・山本尚友「熊本の部落史 前近代」
- 『部落解放研究』169、部落解放・人権研究所、2006/04
- ・上杉聰「書評/石瀧豊美著『筑前竹槍一揆の研究 廃藩置県・解放令・筑前竹槍一揆』」

- ・高久智広「近世後期天王寺長吏林家における相続をめぐる 長吏文書研究会の活動より (下)」  
『部落解放研究』170、2006/06
- ・上杉聰「中世の差別意識と天皇制 網野善彦氏批判」
- ・松井章「書評/中島久恵著『モノになる動物のからだ一骨・血・筋・臓器の利用史』」  
『部落解放研究』171〈特集：近代都市の展開とスラム・部落〉、2006/08
- ・阿部安成「〈スラム〉をなぞる/に問われる」
- ・外村大「帝都東京の在日朝鮮人と被差別部落民」
- ・吉村智博「近代都市大阪と「釜ヶ崎」—1900~20年代の都市下層社会」
- ・「部落史関係文献目録 (2005年4月~2006年3月)」  
『部落解放研究』172、2006/10
- ・北崎豊二「維新の変革と部落問題研究」
- ・徐知延「朝鮮「白丁」身分の起源に関する一考察 (上)」
- ・藤原豊「書評/浪速部落の歴史」編纂委員会編『史料集 浪速部落の歴史』  
『部落解放研究』173、2006/12
- ・奥本武裕「書評/斎藤洋一著『被差別部落の生活』」
- ・徐知延「朝鮮「白丁」身分の起源に関する一考察 下」  
『部落解放研究くまもと』52、熊本県部落解放研究会、2006/10
- ・東道成「権力に迎合した教団とそれへの抵抗—真宗大谷派における近代の一側面」
- ・部落史古文書研究会「れきし・くらし・ひと (22)」  
『部落解放研究くまもと』53〈特集：近世九州における皮革業〉、2007/03
- ・阿南重幸「江戸期—渡辺村皮商人と九州の「かわた」」
- ・竹森健二郎「『松原革会所文書』にみる、幕末期福岡藩の皮革—大坂との関係を中心に」
- ・中村久子「佐賀の事例から—唐津藩の皮座について—『御武具方御役所二而皮座御仕組一件』(唐津藩佐志組大庄屋岸田家文書)より」
- ・樋口輝幸「熊本藩近世被差別部落の皮革業について」
- ・平田公大「日向における皮革について—延岡内藤藩を中心に」
- ・山本尚友「第25回九州地区部落解放史研究集会報告 中近世の皮革業の特徴について」
- ・「新たな視点からの「フィールドワーク—『むら』を歩いて」の作成 豊後大野市大野町」  
『部落問題研究』175、部落問題研究所、2006/04
- ・三田智子「十八世紀中期の南王子村の村落構造」
- ・西尾泰広「中野三憲著「概況一斑大阪府泉北郡南王子村」(1914年11月)」  
『部落問題研究』176〈第43回部落問題研究者全国集会報告〉、部落問題研究所、2006/06
- ・朝尾直弘「歴史1分科会/私の近世身分制社会の研究について」
- ・海原亮「歴史1分科会/知識・技術の所有と身分」
- ・高田克彦「歴史2分科会/第一次世界大戦期の都市社会と米騒動—大阪市北西部の工業地帯を素材に」
- ・塚田孝「歴史1分科会/近世身分制社会という捉え方—朝尾直弘氏の近世社会論」
- ・廣川和花「歴史2分科会/近代日本のハンセン病者と地域—ハンセン病自由療養地をめぐる議論を素材に」  
『部落問題研究』177、2006/10
- ・鳥飼慶陽「部落問題の解決と賀川豊彦」

- ・西尾泰広「史料紹介/滋賀県豊田・輯睦会文書 その1」  
『部落問題研究』179、2007/02
- ・「座談会/『水平社創立の研究』(鈴木良著)をめぐって」
- ・梅本哲世「書評/広川禎秀・山田敬男編『戦後社会運動史論—1950年代を中心に』」
- ・奥村弘「報告3/近代地域社会論の観点から」
- ・竹永三男「報告1/全国水平社創立史研究の新たな展開」
- ・竹永三男・広川禎秀・奥村弘・塚田孝・鈴木良「討論」
- ・広川禎秀「報告2/社会運動史研究の立場から」  
『文学』7(6)、岩波書店、2006/11
- ・荒井裕樹「御歌と<救難> 貞明皇后神格化と御歌の社会機能を巡って」  
<ホ>  
『ホットライン21』48、大阪同和・人権問題企業連絡会、2006/05
- ・第4グループ「歴史と文化の宝庫 京都人権ゆかりの地を訪ねて」  
『ホットライン21』49、2006/09
- ・編集部「シリーズ歴史人物の探訪/浪花の奇才 坂田三吉」  
<ミ>  
『水と村の歴史 信州農村開発史研究所紀要』21、信州農村開発史研究所、2006/03
- ・尾崎行也「松代猿屋の上田来訪」
- ・川向秀武「朝倉重吉と農民自治会 農民解放への期待と挫折」
- ・佐藤敬子「五郎兵衛新田高田和人家文書の紹介」  
<モ>  
『もやい 長崎人権・学』52、長崎人権研究所、2006/10
- ・阿南重幸「キリシタンと部落問題 キリシタン迫害と被差別民」

- <ヤ>  
『山本正男 = 政夫研究会会報』1、山本正男 = 政夫研究会、2006/05
- ・秋定嘉和「1930年～34年の山本正男について」
- ・朝治武「山本正男 = 政夫研究会の課題と方向」
- ・「山本正男著作目録(1)1922年～1926年」  
『山本正男 = 政夫研究会会報』2、2006/09
- ・本郷浩二「全国融和連盟と山本正男」
- ・宮武利正「山本正男著作目録(2)1927年～1929年」  
『山本正男 = 政夫研究会会報』3、2006/11
- ・手島一雄「共鳴会時代の山本正男」
- ・朝治武「秋定嘉和著『近代日本の水平運動と融和運動』出版記念会参加記」
- ・宮武利正「山本正男著作目録3 1930年～1934年」  
<ラ>  
『ライツ』82、鳥取市人権情報センター、2006/03
- ・椋田昇一「ビデオ/人間の尊厳を求めて—解放運動50年 森田益子」  
<リ>  
『Regional・リージョナル』1、奈良県立同和問題関係史料センター、2006/05
- ・「『研究紀要』総目次」
- ・「『奈良県同和問題関係史料』一覧」
- ・井岡康時「薬師寺周辺地域における新田開発村の成立をめぐって」
- ・奥本武裕「法隆寺郷常楽市はどこか？」
- ・吉田栄治郎「有馬温泉の「癩」者・坂者・夙」  
『Regional・リージョナル』2、2006/09
- ・井岡康時「村の要件 添下郡矢田村と新村の争論から」
- ・奥本武裕「法隆寺東西両郷とはどこか？」
- ・中村泰彦「高田町「米騒動」始末(上)」
- ・吉田栄治郎「『振濯録』の原稿料」

- 『Regional・リージョナル』3、2006/10
- ・中村泰彦「高田町「米騒動」始末(下)」
  - ・井岡康時「霊場の整備と被差別部落」
  - ・奥本武裕「大和同心会会長の辞職届」
  - ・吉田栄治郎「救癩施設・北山十八間戸最後の住人」
- 『Regional・リージョナル』4、2006/11
- ・奥本武裕「大和郡山今井町光慶寺の成立と地域住民」
  - ・谷山正道「近世後期の永原村と中村家中村直三関係史料の紹介(1)」
  - ・吉田栄治郎「葉師寺西郊の夙村と救癩施設・西山光明院」
- 『Regional・リージョナル』5、2007/01
- ・奥本武裕「近世穢多村の村と寺 複数の真宗寺院が所在する村」
  - ・吉田栄治郎「奈良町北郊夙村の由緒の物語」
- 『リベラシオン』122、福岡県人権研究所、2006/06
- ・羽音豊調査研究プロジェクト「にんげん・羽音豊(6)」
- 『リベラシオン』123、2006/09
- ・石瀧豊美「『日本少年』掲載の作文「新平民」」
  - ・徐知延「朝鮮「白丁」身分の起源とその変遷」
  - ・編集部「全九州水平社のゆかりの地を訪ねて」
  - ・古文書学習会「近世民衆史の泉(48)」
- 『リベラシオン』124〈特集：部落差別はなくなったか?〉、2006/12
- ・原田雅秀「6年生の部落史学習のあり方―『今Dokiの部落史学習』」
  - ・金山登郎「福岡市都町・くらしと運動の記録―『くらしと差別』『続くらしと差別』を読んで」
  - ・小正路淑泰「図書の紹介/『水平の行者

栗須七郎』(廣畑研二著)」

- ・古文書学習会「近世民衆史の泉(49)」
- 『リベラシオン』125〈特集：第12回全国部落史研究交流会報告〉、2007/03
- ・阿南重幸「近世初頭かわた(長史)集団のキリスト教受容」
  - ・鈴木則子「江戸時代の医学と「癩」
  - ・田原行人「図書の紹介/『近代日本の水平運動と融和運動』(秋定嘉和著)」
  - ・本郷浩二「全国融和聯盟と中央融和事業協会の再編―融和運動における「国策確立」の意味をめぐる」
  - ・守安敏司「初期水平社運動がみた改善・融和運動」
  - ・山本尚友「真宗と被差別部落―研究史の整理」
- 〈ル〉
- 『ルシファー』9、水平社博物館、2006/10
- ・金井英樹「水平線をかけぬけた永遠の少年闘士 山田孝野次郎」
  - ・仲間恵子「関西沖繩県人会と水平社」
  - ・仲林弘次「『水平線をかけぬけた永遠の少年闘士 山田孝野次郎』を開催して」
- 〈ワ〉
- 『和歌山の部落史編纂会だより』1、和歌山の部落史編纂会、2006/12
- ・日野西眞定「講演録/三昧聖と高野山について」
  - ・小倉英樹「調査研究活動の一齣/室町時代高野山領の土地台帳に現れた人宿」
  - ・矢野治世美「調査研究活動の一齣/婦人会活動と人権問題」

(作成協力：廣岡浄進[大阪大学大学院文学研究科博士後期課程]・藤原豊[神戸国際中学校・高等学校教諭])